# 非加熱性水産加工食品製造職種(調理加工品作業)

## 作業の定義

魚介藻類の非可食部を除き、フィレ、切り身、裁断、切削、整形、すりつぶし等の下処理を行った後、小麦粉・パン粉等のころもかけ、調味、混合等の調理加 |工を行ったものを冷蔵・冷凍、包装して非加熱性調理加工品を製造する作業(ふぐの有毒部位の除去等の作業者に関する法令による営業上の規制がある| 作業を除く)をいう。

調理加工品とは、原料魚介藻類を加工に適した形態に処理(ブランチングを含む)した上で、味付け、又はころもかけ等の他の食品(調味料・香辛料等を含 む)を付加する調理加工を行うことにより、嗜好性、利便性、貯蔵性等を高めた製品の総称である。

#### 第1号技能実習 第2号技能実習 第3号技能実習 (1)調理加工品製造作業 (1)調理加工品製造作業 (1)調理加工品製造作業 ①原料魚介藻類の判別作業 ①原料魚介藻類の判別作業 ①原料魚介藻類の判別作業 (指示をされたとおりに以下の作業を行う) (工程表等に従い以下の作業を行う) (自ら作成した工程表等により以下の作業を行う) 1. 原料魚介藻類の種類分け 1. 原料魚介藻類の種類分け 1. 原料魚介藻類の種類分け 2. 原料魚介藻類のサイズ分け 2. 原料魚介藻類のサイズ分け 2. 原料魚介藻類のサイズ分け 3. 原料魚介藻類の鮮度判別 3. 原料魚介藻類の鮮度判別 ②原料魚介藻類の処理作業 ②原料魚介藻類の処理作業 ②原料魚介藻類の処理作業 (指示をされたとおりに以下の作業を行う) (工程表等に従い以下の作業を行う) (自ら作成した工程表等により以下の作業を行う) 1. 包丁の選定 1. 包丁の選定 1. 包丁の選定 2. 原料魚介藻類の解凍 2. 原料魚介藻類の解凍 2. 原料魚介藻類の解凍 3. 原料魚介藻類の解凍状況の判別 3. 原料魚介藻類の解凍状況の判別 3. 原料魚介藻類の解凍状況の判別 4. 加工に適した形態への処理(フィレ等) 4. 一次処理(頭・内臓除去、異物除去等) 4. 加工に適した形態への処理(フィレ等) ③調理加工作業 ③調理加工作業 ③調理加工作業 (工程表等に従い以下の作業を行う) (指示をされたとおりに以下の作業を行う) (自ら作成した工程表等により以下の作業を行う) 1.調味液等の計量 1.調味液等の調合 1.原料に合わせた調味液等の調製 2.調味液等の付加 2.調味液等の付加 2.調味液等の付加 3.付加した状態の判別 3.付加した状態の判別 3.付加した状態の判別 4.整形 4.整形 5.製品の計量 ④製品の仕上げ(検査等)作業 ④製品の仕上げ(検査等)作業 (自ら作成した工程表等により以下の作業を行う) (工程表等に従い以下の作業を行う) 必須業務(移行 1.製品の種類の判別 1.製品の種類の判別 2.異物混入の確認 2.異物混入の確認 3.製品品質の判別 ⑤製造工程表の確認作業 ⑤製造工程表の作成及び確認作業 1.製造工程表の確認 1.製造工程表の作成及び確認

2.製造工程に適した機器の選択

# 対象職種•作業 で必ず行う業

## (2)安全衛生業務(※)

- ①安全衛生作業
  - 1.雇入れ時等の安全衛生教育
- 2.作業開始時の安全確認作業
- 3.水産加工食品製造作業に必要な整理整頓作業
- 4.水産加工食品製造用機械等及び周囲の安全確認作業
- 5.保護具及び安全標識・装置の点検作業
- 6.安全装置の使用等による安全作業
- 7.労働衛生上の有害性を防止するための作業
- 8.危険性、有害性の排除及び応急処置対応作業
- 9.安全作業に係る記録と確認作業
- ②食品衛生作業
- 1.作業者の衛生管理作業
- 2.器具の衛生管理作業
- 3.製造用機械、調理器具等の取扱法
- 4.電気、ガス、燃油等の取扱法
- 5.作業手順(フローシート)の確認
- 6.作業終了時の作業場の清掃及び機械・器具等の洗浄・殺菌
- 7.衛生作業に係る記録と確認作業

◎技能実習3号では(1)~(2)の必須業務のポイントの 説明及び指導ができることを目途とする。

2.製造工程に適した機器の選択

## (1)関連業務

- ①非加熱水產加工食品製造業職種(塩蔵品製造、乾製品製造、発酵食品製造、生食用加工品製造)
- ②加熱水産加工食品製造業職種(節類製造、加熱乾製品製造、調味加工品製造、くん製品製造)
- ③水産加工関連器具・工具の取扱い作業
- ④水産加工関連機械の取扱い作業
- ⑤包装機の取扱い作業
- ⑥製品の凍結作業
- ⑦製品の殺菌作業
- ⑧食品添加物の使用基準管理作業

明本类数 田江	⑨その他の調理加工品製造作業
関連業務、周辺 業務(上記必須 業務に関連する 技能等の修得に 係る業務等で選 出すること。)	9代の他の調理加工品級迫作業 1.熟成作業
	1.放送作業 2.あん蒸作業
	3.脱水作業
	3.航水作業 4.乾燥作業
	4.92/戻1F来 5.すりつぶし作業
	6.ブランチング作業 (2)周辺業務
	①工場内清掃作業
	②工場内運搬作業 ③梱包作業
	③他さ1F未 ④出荷作業
	(3)安全衛生業務(関連業務、周辺業務を行う場合は必ず実施する業務)
	上記※に同じ
使用する素材、材料等(該当するものを選択すること。)	①原料 1.魚類(にしん、いわし、あじ、さんま、さば、さけ、たら・すけとうたら、まぐろ、かじき、ほっけ、さわら、ぶり、さわら、かます、かれい、あまだい、
	わかさぎ、こうなご、とびうお、たちうお、ししゃも等)
	2.貝類(ほたてがい、かき、つぶ、さざえ、あさり等) 2.甲型類(かに、まが策)
	3.甲殻類(かに、えび等)
	4.魚卵(さけます卵、数の子、飛び子、かにの卵、ししゃも卵、すけそうだらの卵、まだらの卵等)
	5.海藻類(こんぶ、わかめ、もずく等)
	6.いか・たこ類(いか・たこ等)
	7.その他の魚介藻類 ②副資材
	②町貝杓 1.調味料等(醤油、味噌、うまみ調味料、砂糖、食酢、みりん、清酒等)
	1.調味科寺(香油、味噌、)まの調味料、砂糖、良酢、のりん、用酒寺/ 2.香辛料
	2.音 〒 春年 3.衣、つなぎ等(小麦粉、鶏卵、パン粉、バッタミックス、片栗粉等)
	3.2、フなさ寺(小麦材、鶏卵、ハフ材、ハツダミックへ、片来材寺) 4.油脂(植物性、動物性等)
	5.食品添加物(酸化防止剤、着色料、PH調整剤、香料等)
	5. 民間が加物(酸化防止剤、有己杯、F11調量剤、自科等) 6. その他の副資材
	①機械・設備
使用する機械、 器具等(該当す るものを選択す ること。)	① 1.魚体(原料)洗浄機 2.魚体(原料)選別機 3.魚体(原料)処理機(内臓除去装置、ヘッドカッター、フィレマシン等) 4.乾燥機 5.解凍装置 6.金属探知機
	7.真空包装機 8.ガス充填包装機 9.保管冷蔵庫 10.充填機 11.凍結機 12.急速凍結機(トンネルフリーザー、コンタクトフリーザー等) 13.脱水機
	14.衣付け機 15.裁断機 16.身取機 17.混合機 18.エックス線異物検出器 19.紫外線異物検出器 20.チョッパー 21.フードカッター
	②器具·工具等
	© 1.包丁類 2.はさみ類 3.鱗取り器 4.皮むき道具 5.骨抜き道具 6.冷凍パン 7.解凍用器 8.作業用タンク 9.分離ネット 10.漬け込み容器
	③計測器等
	③ II / / II / 3 1.塩分濃度測定器 2.温度計 3.秤量器(機) 4.計量器 5.脂肪測定器 6.鮮度測定器
択すること )	1.水産冷凍・チルド加工品(フライ、コロッケ、フィシュハンバーグ、唐揚げ、包み揚げ、串揚げ、てんぷら、フィッシュボール等)
	2.味付け加工品等(漬け魚、調味いか、調味えび、味付けほたて、味付けこんぶ、味付けわかめ、味付けもずく、とろろこんぶ等)
	3.その他の調理加工品
移行対象職種・ 作業とはならな い業務例	1.水産練り製品製造作業
	2.魚介類(鯨を含む。)を原料とする魚肉ハム・ソーセージの製造作業
	3.冷凍品(原料のまま凍結したもの)又は冷凍水産食品(冷凍すり身等)の製造作業
	4.漁業者が出荷のためにのり等の海藻を採取・乾燥する作業
	5.原料魚介藻類の処理を含まない調理のみの場合
	6.ふぐの有毒部位の除去等の作業者に関する法令による営業上の規制がある作業
	7.上記の関連作業及び周辺作業のみの場合
J	